

# WHO news March 2024

2024年3月4日

## [WHO issues guidance to improve access to hearing care in low- and middle-income settings](#)

For World Hearing Day, marked on 3 March, the World Health Organization (WHO) has released new technical guidance on hearing aid service delivery approaches for low- and middle-income settings.

### WHO：中低所得環境における聴覚ケアへのアクセスを改善するためのガイドランス

世界保健機関（WHO）は、3月3日の「国際耳の日（World Hearing Day）」に向けて、低・中所得国向けの補聴器サービス提供アプローチに関する新しい技術ガイドランスを発表しました。

このガイドランスは、聴力評価や補聴器のフィッティング、メンテナンスを行う人的資源が不足している地域で補聴器サービスを展開する際に、各国に実践的なガイドランスを提供することを目的とし、成人向けと5歳以上の子供向けの2つのアプローチがあり、健康的な耳のケアの実践、補聴器の使用方法、難聴者のサポート方法などのヒントが掲載されています。

---

2024年3月4日

## [One in eight people are now living with obesity](#)

New study released by the Lancet shows that, in 2022, more than 1 billion people in the world are now living with obesity. Worldwide, obesity among adults has more than doubled since 1990, and has quadrupled among children and adolescents (5 to 19 years of age).

### 栄養不良、8人に1人が肥満（Lancet）

Lancet 誌が発表した新しい研究によると、2022年現在、世界で10億人以上が肥満を抱えながら生活していると報告しています。WHOは本調査のデータ収集と分析に貢献しました。

世界中で成人の43%が過体重であるというデータもあり、成人の肥満は1990年以来2倍以上に増加し、子供と青年（5歳から19歳）では4倍に増加しています。2022年の世界保健総会で、加盟国は肥満を阻止するためのWHO加速計画を採択し、2030年までの国レベルの行動を支援しています。現在までに31の政府がこの計画の実施により肥満の蔓延を抑制する道を主導しています。

栄養不良には、肥満以外に栄養不足（消耗、発育障害、低体重）、ビタミンやミネラルの不足が含まれますが、この研究では、特に南東アジアやサハラ以南のアフリカでは依然として栄養不足が公衆衛生上の課題であることも示しています。

2022年に低体重と肥満の合計率が最も高かった国は、太平洋とカリブ海の島国と中東・北ア

フリカの国々でした。栄養不足に対処するには、農業、社会的保護、健康における多部門的な行動が必要であり、食糧不安を軽減し、清潔な水と衛生設備へのアクセスを改善し、必要不可欠な栄養介入への普遍的なアクセスを確保する必要があります。

データセットは現在、グローバルヘルス・オブザーバトリー（GHO : Global Health Observatory）を通じて公開されています。

---

2024年3月4日

## [WHO launches Pharmaceutical Quality Assurance guidelines, 10th edition](#)

The [10th edition of the Quality assurance of pharmaceuticals](#): a compendium of guidelines and related materials is an essential resource for the global healthcare community, designed to strengthen pharmaceutical standards worldwide.

### **WHO : 医薬品品質保証ガイドライン 第 10 版を発表**

『医薬品の品質保証 : ガイドラインと関連資料の概要』の第 10 版は、世界中の医薬品基準を強化するために設計された、世界の医療コミュニティにとって不可欠なリソースで、各国の規制当局、製薬メーカー、医療従事者、調達機関のために作成され、世界的に通用する適正製造規範（GMP : good manufacturing practices）および査察の基準を維持するために役立つものです。

新規ガイドライン 8 本と改訂ガイドライン 10 本を含む 46 本のガイドラインが収録されており、医薬品品質保証のための規制システムと国際基準を強化するための包括的な枠組みを提供しています。

最近の小児用シロップ剤の汚染に関する注意喚起は、加盟国が公衆衛生を守るためにこれらの国際基準を実施して、医薬品製造における対策を強化することの緊急性を強調しており、この実施は地域や地方で生産された医薬品や、国際的に流通する医薬品の品質と安全性を支援します。

---

2024年3月4日

## [Leaders call for scale-up in implementing One Health approach](#)

The newly launched [One Health Joint Plan of Action Implementation Guide](#) is a cornerstone of the global efforts, providing practical guidance for translating One Health theory into action.

### **ワンヘルス・アプローチの実施拡大を呼びかけ**

ワンヘルス・アプローチ、すなわち人々の健康が動物や私たちが共有する環境の健康と密接に関係しているとの認識を推進することは、前例のない課題に対処するための有望な解決策を提供します。

国連食糧農業機関、国連環境計画、世界保健機関、世界獣疫事務局の四者連携リーダー達は、ワンヘルス・アプローチを世界中で推進するために協力し、2022年に開始されたワンヘルス共同行動計画は、各システムと能力を統合することで、健康の脅威に対する予防、予測、検出、および対応を総合的に改善することを目的にしています。

ケニアのナイロビで開催された第2回4者会合で、各組織は、この計画の政策効果をさらに高め、ワンヘルスの実施をあらゆるレベルで支援するために持続可能な資源を動員することを再確認し、新たに発表された「ワンヘルス共同行動計画実施ガイド」は、ワンヘルスの理論を行動に移すための実践的ガイダンスを提供し、グローバルヘルス活動の礎となるもので既存のリソースやツールを照合し、ガイドのためのワンヘルス・インベントリー・リストを作成しました。

---

2024年3月4日

## [WHO launches a Repository of systematic reviews on interventions in environment, climate change and health](#)

Today the World Health Organization launched a comprehensive [Repository of systematic reviews on interventions in environment, climate change and health](#).

### **WHO：環境・気候変動・健康への介入に関するシステマティック・レビューのリポジトリ開設**

世界保健機関（WHO）は「環境、気候変動、健康への介入に関する系統的（システマティック）レビュー」の包括的なリポジトリを立ち上げました。

このリポジトリは、環境・気候変動・健康（ECH：environment, climate change and health）のすべての主要分野における介入に関するエビデンスや現状を評価したレビューのリスト提供を目的としています。

リポジトリの対象となる ECH 分野には、WHO の大要や健康と環境に関するその他の国連ガイダンスに基づいて定義されており、大気の状態、水・トイレ・衛生設備（WASH）、気候変動、固形廃棄物、化学物質、放射線、自然と健康、安全な環境と移動、安全で健康的な食品、環境騒音、行動のための優先設定などが含まれます。

環境問題の深刻化と公衆衛生への深刻な影響が顕著な時代において、このリポジトリの立ち上げは、グローバルヘルスとウェルビーイングを守るための WHO の継続的な努力のマイルストーンとなり、最も効果的な介入策に関する既存の知識と証拠にスポットライトを当て、触媒の役割を果たします。

---

2024年3月4日

## [Message from the Director - Outlook for 2024](#)

A year to unify and collaborate, knowing and harnessing our strengths

## SRH (性と生殖の健康) ディレクターからのメッセージ

SRH : Sexual and Reproductive Health 部門ディレクター ; パスカル・アロティ氏のメッセージ、要旨

- 2024 年は、人口と開発に関する国際会議の、人口抑制という以前の懸念から大きく脱却し、今日の私たちの指針となる性と生殖に関する健康への権利に基づく現代的なアプローチを確立してから 30 年目となる。
- 脱却から 10 年目の 2004 年、第 57 回 世界保健総会で、WHO 初のリプロダクティブ・ヘルス戦略である「国際開発目標達成に向けた前進を加速するためのリプロダクティブ・ヘルス戦略」が採択され、包括的な性と生殖に関する保健サービスの提供は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジにおけるプライマリー・ヘルスケアシステムの全体的な強さと有効性の指標となる。
- 包括的な SRH サービスを提供できる健康システムは、サービス提供、人材育成、インフラ整備、製品・機器へのアクセス、医療情報システムなどの分野において、効果的に能力を発揮する。
- ヒューマン・リプロダクション・プログラム HRP (Human Reproduction Programme) が、国連開発計画 (UNDP)、国連人口基金 (UNFPA)、ユニセフ、世界保健機関 (WHO)、世界銀行を協賛団体とする広範な組織連合の一員として、すべての人の性と生殖に関する健康と権利の確保に取り組んでいることを、誇りに思う。
- 今年は、SRH サービスを向上させるための画期的なソリューションを活用する年としたい。

---

2024 年 3 月 11 日

### [World TB Day 2024 Campaign: YES! WE CAN #ENDTB!](#)

The theme of World TB Day 2024 - 'Yes! We can end TB!' – conveys a message of hope that getting back-on-track to turn the tide against the TB epidemic is possible through high level leadership, increased investments and faster uptake of new WHO recommendations.

### 「YES ! WE CAN #ENDTB ! 」 - 世界結核デー 2024

3 月 24 日の世界結核デーのテーマは、「Yes ! We can end TB ! (私たちは結核をなくすことができる)」で、ハイレベルのリーダーシップ、投資の拡大、WHO の新たな勧告の迅速な導入により、結核の流行に対する流れを再び軌道に乗せることが可能であるという希望のメッセージを伝えています。

結核流行は、貧困、不平等、栄養不良、併存疾患、差別、偏見が結核流行の主な要因です。したがって、結核とその根本的な原因との闘いの進展は、保健システムだけで達成できるものではありません。

結核の予防的治療 (TPT : TB preventive treatment) や結核のスクリーニング・サービスへ

のアクセスを拡大することは、効率性を生み出し、保健面でも財政面でも大きな利益につながるため、優先事項です。結核流行対策として、医療への普遍的なアクセスを確保し、研究を進めるためには、資源、支援、ケア、情報への持続可能な投資が不可欠です。

結核との闘いに関する第2回国連ハイレベル会合の政治宣言において、世界の指導者たちがハイレベルで強力なコミットメントを表明した今、私たちは力を結集して、これらのコミットメントを迅速に行動に移さなければなりません。WHOは各国と緊密に協力し、多部門説明責任フレームワークの採択を支援し、多部門の関与と説明責任の強化を呼びかけています。

---

2024年3月11日

## [Wave of new commitments marks historic step towards the elimination of cervical cancer](#)

New country, policy and program commitments, plus nearly US\$ 600 million in new funding, at first-ever global forum offer a chance to save hundreds of thousands of lives by 2030.

### **子宮頸がん撲滅への新たな取り組み：歴史的な第一歩**

3月5日、世界初の子宮頸がん撲滅フォーラムにおいて、各国政府、ドナー、多国間機関、およびパートナーは、子宮頸がん撲滅に向けた、約6億米ドルの新規資金を含む、新たな政策、プログラム、および資金面での主要なコミットメントを発表しました。

子宮頸がんは、世界中で女性に4番目に多いがんであり、中低所得国(LMICs)の女性とその家族に不釣り合いな影響を与えています。重要な変化として、世界保健機関(WHO)が2022年にHPVワクチンの1回接種スケジュールを世界的に推奨したことで、ワクチン接種プログラムの拡大に対する障壁が大幅に軽減されました。ワクチン接種率を拡大し、検診と治療プログラムを強化するという動きが完全に実現すれば、子宮頸がんが撲滅される可能性があります。撲滅への道のりには多くの課題があります。供給上の制約、配送上の課題、COVID-19の流行により、2022年にワクチン接種を受けたのは、対象となる思春期の女性のわずか5人に1人でした。また、費用対効果が高く、エビデンスに基づいた検診・治療ツールがあるにもかかわらず、子宮頸がん検診を受けたことのある女性は、多くのLMICsでは5%未満です。

医療システムの制約、費用、物流の問題、政治的意思の欠如が、子宮頸がん予防と治療のための包括的なプログラムを実施する上での障害となっています。

---

2024年3月11日

## [New report documents increase in HIV drug resistance to dolutegravir](#)

The World Health Organization's (WHO) latest HIV Drug Resistance (HIVDR) Report tells us where drug resistance is growing and offers recommendations for countries to monitor and respond to the potential challenges.

## ドルテグラビルに対する HIV 薬剤耐性の増加を示す新たな報告書

世界保健機関 (WHO) の最新の HIV 薬剤耐性 (HIVDR : HIV Drug Resistance) 報告書は、薬剤耐性がどこで増加しているかを示し、各国が潜在的な課題を監視し対応するための推奨事項を提供しています。

ドルテグラビル (DTG) を含む抗レトロウイルス療法 (ART) 受療集団ではウイルス量の高い抑制レベル (90 % 以上) を示しているとされていますが、この報告書では、観察データや国ごとに作成された調査データにより、DTG に対する薬剤耐性のレベルは臨床試験で観察されたレベルを超えているとしています。

2022 年には、世界で HIV とともに生きる 3,900 万人の 75 % 以上が HIV 治療を受けています。各国は WHO の勧告を実施し、127 カ国中 116 カ国が WHO が推奨する成人および青少年のための DTG に基づく第一選択治療を採用し、報告された低・中所得国の 74 % が成人および青少年のためのウイルス量モニタリングを採用しています。しかし、HIV の新規感染者数は 130 万人、HIV 関連の死者数は 63 万人と推定されており、SDGs 目標に向けた進捗は停滞しています。

HIVDR の新しい報告書では、各国がクオリティ・オブ・ケアの指標を効果的に監視・報告できるよう、データ報告システムを強化することの重要性を強調しています。HIV 薬剤耐性の拡大を最小限に抑えることは、世界的対応の重要な一部であり、あらゆる政府部門や社会レベルで協調した行動が必要です。

---

2024 年 3 月 11 日

### [Announcing new initiatives to maximize efficiencies of medicine donation programmes for neglected tropical diseases](#)

The World Health Organization's Global NTD Programme has launched a Global Oversight Committee.

## 顧みられない熱帯病医薬品寄贈プログラムの効率最大化のための新イニシアチブ

NTDs 治療のための医薬品の寄贈は、世界的に見ても最大規模の公衆衛生の取り組みの一つです。2011 年から 2023 年の間に、大量薬剤投与や症例管理などの NTD 治療介入を実施するために、さまざまな寄付メカニズムを通じて、277 億錠以上の医薬品が各国に届けられました。

世界保健機関 (WHO) のグローバル NTD プログラムは、世界監視委員会 (Global Oversight Committee) を発足させました。この世界監視委員会は、NTDs 治療のための医薬品の寄贈とサプライチェーン管理における長年の課題に取り組み、必要な人々への医薬品配布の効率化と努力の調整において重要な役割を果たします。

このイニシアチブは、業界のベストプラクティスと連携することで予防化学療法薬の提供を強化するだけでなく、無駄を大幅に削減し大量薬剤投与キャンペーンでのタイムリーな利用を確保します。

WHO、メルク社、ジョンソン・エンド・ジョンソン社、GSK (グラクソ・スミスクライン)、

エーザイ、米国国際開発庁、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の緊密な協力により設立されたこれらの画期的なイニシアチブは、NTDs との世界的な闘いにおける重要な一歩となります。

---

2024 年 3 月 11 日

## [Exercise PanPRET-1: what have we learnt from applying this simulation exercise in 7 countries to update pandemic plans?](#)

Following the release of [PRET Module 1](#) with a focus on planning for respiratory pathogen pandemics, WHO developed an adaptable influenza tabletop simulation exercise referred to as Exercise PanPRET-1.

### **PanPRET – 1 : インフルエンザ卓上シミュレーション演習**

WHO は、PanPRET – 1 演習と呼ばれる、病原体にとらわれない様々なパンデミックに適応可能なインフルエンザ卓上シミュレーション演習を開発し、多様な国家環境における多部門のパンデミック計画を促進することに成功しました。新たな脅威への備えと回復力 (Preparedness and Resilience for Emerging Threats) イニシアチブは、ハザードに焦点を当てたパンデミック計画を策定し、その後、社会全体のアプローチを用いてこれらの計画をテストし、更新することの重要性を強調しています。

WHO は、2024 年以降、未知の新興病原体 X を含む病原体にとらわれないシミュレーション演習パッケージを開発し、広範な技術分野 (例えば、必須保健サービスの継続性、メンタルヘルスなど) を含めた介入補助の方法を開発し、パンデミック計画の策定を促進する予定です。

---

2024 年 3 月 11 日

## [Improving the health and wellbeing of children and adolescents: guidance on scheduled child and adolescent well-care visits](#)

This guidance on scheduled well-care visits is the first in a series of publications to support the operationalization of the comprehensive agenda for child and adolescent health and wellbeing..

### **子どもや青少年の定期健康診断ガイダンス**

子どもや青少年が生き延び、成長するためには、健康、十分な栄養、安心、安全、清潔な環境、早期学習と教育の機会、親密な人間関係、自律性や自己実現の機会が必要で、彼らの健康とウェルビーイングを促進するためには、両親、家族、地域社会、周囲の機関、そしてそれを可能にする環境からの支援が必要です。

このガイダンスは、子どもと思春期の健康とウェルビーイングのための包括的なアジェンダの運用を支援する一連の出版物の最初のもので、子どもや青少年の成長と発達のを支援するために、その主な養育者や家族だけでなく、医療提供者との定期的な接触に焦点を当てています。

ウェルケア訪問の根拠と目的を概説し、最低 17 回の訪問予定を提案し、訪問中に期待されるタスクを説明し、各接触で扱うべき年齢別の内容を提供し、既存の機会とリソースを構築し最大限に活用するための行動を提案します。定期的なウェルケア訪問は、個々の子ども、青少年、両親、介護者、そして家族の健康とウェルビーイングを促進するための重要なサポートの機会を提供します。

---

2024 年 3 月 11 日

## [Strategy for optimizing national routine health information systems: strengthening routine health information systems to deliver primary health care and universal health coverage](#)

This strategy was developed to further support countries in their efforts to strengthen their capacity to implement key interventions to optimize their RHIS, enabling the monitoring and delivery of Health Care Services, especially Primary Health Care (PHC).

### **国の日常保健情報システムを最適化するための戦略**

国の RHIS (Routine Health Information System) を最適化するための戦略は、WHO の SCORE (Survey, Count, Optimize, Review, Enable) for Health Data Technical Package の一部であり、国の保健データシステムと、保健サービス管理および国と世界の目標のモニタリングのための情報を生成し使用する能力を強化するためのものです。

この戦略では、測定可能な介入を伴う 5 つの戦略目標を通じて、統合され、相互運用可能で、エビデンスに基づき、連携し、パートナーシップに基づく RHIS の原則を提案し、RHIS を最適化することを目的としており、国、サブナショナル (公共、民間、非政府を含むがこれに限定されない国レベル以下の全てのレベル)、コミュニティレベルでの保健データの収集、報告、分析、利用を改善するための戦略的目標、指導原則、具体的目標、主要な介入策に支えられたビジョンを概説しています。

---

2024 年 3 月 14 日

## [Study finds Pacific accounts for 9 of the 10 most obese countries in the world](#)

New analysis published in the Lancet has found that Pacific island countries account for 9 out of 10 of the top countries in the world with the highest prevalence of obesity among women and men aged 20 and above.

### **世界で肥満者の多い上位 10 カ国のうち 9 カ国が太平洋地域**

Lancet 誌に発表された新しい分析によると、20 歳以上の女性および男性の肥満率が世界の上位 10 カ国のうち、9 カ国が太平洋島嶼国でした。



2022年のデータを見ると、世界で10億人以上が肥満とともに暮らしていて、成人の肥満は1990年以来2倍以上に増加し、子供と青年（5歳から19歳）では4倍に増加しています。また、2022年には成人の43%が過体重になるというデータも示されています。

太平洋地域では、過体重、肥満、食事に関連する非感染性疾患が、ここ数十年の間にあらゆる年齢層で徐々に増加し、早期死亡や身体障害の主な原因となっていて、糖尿病、高血圧、心臓病などの非感染性疾患の発症リスクを高めています。

昨年9月の第15回太平洋保健大臣会合において新しいアプローチの必要性を認識した保健指導者たちは、特に子どもや若者の肥満の複雑な要因に対処するための一連の8つの行動を決定しました。

WHOは、太平洋の島嶼国や地域がより健康的な行動を促進できるよう、健康増進学校イニシアティブなどの支援や、非感染性疾患の検査、監視、治療を行う医療従事者の支援に取り組んでいます。

---

2024年3月14日

## [New manual released to support diagnosis of mental, behavioural and neurodevelopmental disorders added in ICD-11](#)

World Health Organization (WHO) has today published a new, comprehensive diagnostic manual for mental, behavioural, and neurodevelopmental disorders: “[The clinical descriptions and diagnostic requirements for ICD-11 mental, behavioural and neurodevelopmental disorders \(ICD-11 CDDR\)](#)”.

### **ICD-11「精神・行動・神経発達疾患」の新診断サポートマニュアル**

WHOは新しく、精神障害、行動障害、神経発達障害に関する「ICD-11 精神、行動および神経発達障害 (ICD-11 CDDR) の臨床的説明と診断要件」包括的診断マニュアルを発行しました。

ICD-11の更新を反映した新しい診断ガイダンスには、新たに追加された、いくつかのカテゴリー（複雑性心的外傷後ストレス症、ゲーム行動症、遷延性悲嘆症など）に関するガイダンスが含まれています。

このマニュアルは、利用可能な最新の科学的根拠と最良の臨床実践を用いて開発され、資格を有する精神保健およびその他の医療専門家が、臨床の場で精神・行動・神経発達疾患を特定し、診断することを支援するように設計されています。

(注) ICD-11：国際疾病分類の第11回改訂版

---

2024年3月14日

## [WHO report reveals gender inequalities at the root of global crisis in health and care work](#)

A new report published by the World Health Organization (WHO), "Fair share for health and care: gender and the undervaluation of health and care work" illustrates how gender inequalities in health and care work negatively impact women, health systems and health outcomes.

## 医療・介護労働における世界的危機の根底に男女の不平等：WHO 報告書

WHO が発表した新しい報告書「医療とケアのための公平な分配：ジェンダーと医療・ケア労働の過小評価」は、医療・ケア労働におけるジェンダー不平等が、女性、保健システム、健康アウトカムにいかにも悪影響を及ぼすかを示していて、保健システムへの投資不足が、無償の医療・介護労働の悪循環をもたらし、女性の有給労働市場への参加を低下させ、女性の経済的エンパワーメントを損ない、ジェンダー平等を阻害していると述べています。

世界の有給医療・介護労働者の 67% は女性ですが、無報酬の介護活動は女性が 76% を担っていると推定されていて、加えて女性が行う仕事は、賃金が低く労働条件も劣悪な傾向があります。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) に向けた進展が停滞し、その結果 45 億人が必要不可欠な保健サービスの完全な適用を受けられず、女性はさらに多くの無償の介護労働を担うことになる可能性があります。脆弱な保健制度と無報酬の医療・介護労働の増加との組み合わせによる悪影響は、介護者の健康とサービスの質にさらなる負担を与えています。

この報告書は、医療と介護労働に対する数十年にわたる慢性的な投資不足が、世界的な介護の危機を増大させていることを示し、医療・介護の価値を高めるための 6 つの政策手段を提示しています。

---

2024 年 3 月 14 日

## [Global child deaths reach historic low in 2022 – UN report](#)

Despite progress, an estimated 4.9 million children died before their fifth birthday somewhere in the world, or 1 death every 6 seconds

## 世界の子どもの死亡数、2022 年は歴史的低水準に – 国連報告書

国連の子どもの死亡率推計のための機関間グループ (UN IGME) が発表した最新の推計によると、5 歳の誕生日を迎える前に死亡した子どもの数は歴史的な低水準最に達し、2022 年には 490 万人にまで減少しました。

ユニセフ事務局長のキャサリン・ラッセルは、「この数字の背後には、母親が新生児を安全に出産できるよう支援する助産師や熟練した保健医療従事者、保健スタッフ、コミュニティの保健スタッフたちの活躍があります。低コストで質の高い、効果的な保健サービスを子どもたちに届けるための知識と手段を手にしたのです」と述べています。

この報告書は、世界の 5 歳未満児死亡率が 2000 年以來 51 パーセント減少しており、子どもの健康とウェルビーイングを含むプライマリ・ヘルスケアに十分な資源が配分されれば、前進が可能であることを示しています。しかし、このような進歩にもかかわらず、予防可能な子ども

と若者の死をすべてなくすにはまだ長い道のりがあることも示しています。5 歳までに失われた 490 万人の命（そのほぼ半数は新生児）に加えて、さらに 210 万人の 5 歳から 24 歳までの子どもと若者の命も奪われました。これらの死者のほとんどはサハラ以南のアフリカと南アジアに集中しています。

質の高い保健サービスへのアクセスを改善し、予防可能な死から子どもたちの命を守るためには、地域保健ワーカーを含め、プライマリー・ヘルス・ケアを提供する保健ワーカーの教育、雇用、適正な労働条件への投資が必要です。

---

2024 年 3 月 14 日

## [WHO and UNICEF launch free online course to address children's environmental health](#)

Recognizing the urgent need to empower all healthcare providers to safeguard children's health amidst the challenges of environmental pollution and climate change, the World Health Organization (WHO) and the United Nations Children's Fund (UNICEF) have collaborated to create a new [free online course](#).

### 子どもの環境衛生に取り組む無料オンラインコース

世界保健機関 (WHO) とユニセフ (国連児童基金) は、環境汚染と気候変動という課題の中で子どもたちの健康を守るために、すべての医療従事者の力を高めることが急務であることを認識し、共同で新しい無料のオンラインコースを作成しました。

このコースは、公害や気候変動が子どもたちの健康や発達、そして未来をますます危うくしている今、医療従事者がこれらのリスクを認識し、効果的に軽減するために不可欠な知識とリソースを身につけることを目的とし、大気汚染、気候変動、電子廃棄物、鉛、殺虫剤など、子どもの健康に影響を及ぼす危険物質など、世界的に関心の高い主要なトピックを取り上げながら、子どもの環境保健について深く掘り下げます。参加者は、この重要なヘルスケア分野における能力を高めるための貴重な洞察と実践的な戦略を得ることができます。

ユニセフと WHO は、すべての子どもが安全で健康な環境で成長する基本的な権利を保持していることを認識し、子どもたちの環境上の健康を優先することで、私たちはこの権利を実現し、世界中のすべての子どもたちのウェルビーイングを守ることができます。

---

2024 年 3 月 14 日

## [WHO launches new manual to support delivery of psychological interventions](#)

WHO has launched a [new manual to support the implementation of psychological interventions](#).

## WHO、心理的介入の実施を支援する新しいマニュアルを発表

世界的には 8 人に 1 人が精神的に不健康な状態を経験しており、その中で最も一般的なのはうつ病と不安症ですが、そのほとんどは治療を受けていません。これは、サービスが不足しているか、サービスの容量が限られているか、アクセスできないか、または手頃な価格ではないことが原因である可能性があります。

心理的介入は、精神的健康状態の有病率の高さと適切なケアへのアクセスの制限との間の大きな治療ギャップを減らす上で重要な役割を果たします。

多くの場合、心理的介入はメンタルヘルスの専門家によって直接行われますが、個人、グループ、または自助アプローチを使用し、訓練を受け監督された非専門家によっても、簡単にマニュアル化された心理的介入を効果的に実施できるようになってきていて、有効性が証明されています。

WHO は、専門家ではないスタッフによって提供される心理学的介入の実施を支援するための新しいマニュアルを発表しました。心理的介入の実施方法に関する実践的なガイダンスを提供することで、より多くの人々が恩恵を受けることができるよう介入へのアクセスを増やすのに役立ちます。

---

2024 年 3 月 14 日

### [How to give voice to citizens in evidence-informed policy processes?](#)

On 29 February 2024, two innovative WHO resources were launched: an [erview Document on citizen engagement in evidence-informed policy-making](#) and a [Mini-Publics Guide](#).

## エビデンスに基づいた政策プロセスにおいて、市民の声をどのように反映させるか？

2024 年 2 月 29 日、WHO の 2 つの革新的な資料が発表されました。それは、「証拠に基づいた政策立案への市民の参加に関する概要文書」と「ミニパブリクス (市民の抽選によって選ばれた幅広い層の人々が参加するフォーラム) ガイド」です。

市民は、自分たちの生活に影響を与える健康政策を策定する上で重要な役割を担っていますが、政策を彼らのニーズや価値観にもっと応えられるものにするためには、やるべきことがまだ多く残っています。科学的根拠に基づいた政策立案 (EIP : evidence-informed policy-making) に市民を参加させることは、市民の視点、好み、経験についての洞察を得て、より包括的で公平、効果的で思慮深い保健政策を生み出すことに大きく貢献します。

WHO は、市民参加 (CE : citizen engagement) 推進する組織の強力な取り組みと、このアプローチに対する一般の人々の関心の高まりの両方を反映するウェビナーを企画し、最終的に 73 か国から 350 名が、講演者やパネリストによる多様で洞察力に富んだ介入イベントに参加しました。イベント全体を通して、ミニパブリックに対する参加者の熱意が明白でした。WHO は、この熱意をさらに発展させ、実践コミュニティを設立することで既存の WHO CE リソースを補完することを目標としています。

---

2024年3月18日

## [Over 1 in 3 people affected by neurological conditions, the leading cause of illness and disability worldwide](#)

A [major new study](#) released by *The Lancet Neurology* shows that, in 2021, more than 3 billion people worldwide were living with a neurological condition.

### **世界中で 3 人に 1 人以上が神経疾患に罹患しており、障害や他の病気の主な原因となっている**

The Lancet Neurology が発表した主要な新しい研究では、2021 年では世界中で 30 億人以上が神経疾患を抱えて暮らしていたことが示され、神経疾患による死亡と健康喪失の 80 % 以上は低・中所得国で発生しています。

神経疾患は現在、世界中で障害や他の病気、および早期死亡（障害調整生存年、DALY として知られる）の主な原因となっていて、1990 年以來の約 30 年で 18 % 増加しました。健康喪失に寄与する神経疾患のトップ 10 は、脳卒中、新生児脳症（脳損傷）、片頭痛、認知症、糖尿病神経障害（神経損傷）、髄膜炎、てんかん、早産による神経合併症、自閉症スペクトラム障害、神経系のがんでした。

2022 年の世界保健総会で、神経疾患に関する分野横断的世界行動計画 2022 ~ 2031 年 (IGAP : Intersectoral Global Action Plan) が採択され、IGPA では、神経疾患患者の治療、ケア、支援へのアクセスを改善し、脳の健康増進と疾病予防のための戦略を実施し、研究とデータを強化し、てんかんやその他の神経疾患に対する公衆衛生的アプローチを重視するための戦略的目標とターゲットを定めています。

---

2024年3月18日

## [WHO expert consultation on updating the 2005 toxic equivalency factors for dioxin like compounds, including some polychlorinated biphenyls](#)

In October 2022, the World Health Organization (WHO) convened an expert panel in Lisbon, Portugal in which the 2005 WHO TEFs for chlorinated dioxin-like compounds were reevaluated..

### **ダイオキシン類化合物の 2005 年毒性等価係数更新（再評価）に関する WHO 専門家協議**

2022 年 10 月、世界保健機関 (WHO) はポルトガルのリスボンで専門家委員会を招集し、塩素化ダイオキシン様化合物に関する 2005 年の WHO の毒性等価係数 TEF (toxic equivalency factors) を再評価しました。

相対毒性強度 REP (Relative Potency) データベースの更新により、ダイオキシン、フラン、ダイオキシン類 PCB の 2005 年 WHO TEF 値を再評価する必要性が示されたことは、招待された専門家全員のコンセンサスを得た結果で、REP データベースの更新、コンセンサスに基づく重

み付けスキーム、ベイズ用量反応モデル、およびメタ分析を利用して、「最良推定」TEF を導き出しました。更新されたデータベースには、以前のバージョンのほぼ 2 倍のデータセットが含まれており、重み付けスキームを知らせるメタデータが含まれています。

これらの新しい TEF を、母乳および魚介類で測定されたダイオキシン様化学物質の限られたセットに適用すると「総毒性当量が 2005 年の TEF を使用した場合よりも低くなる傾向がある」ことが示されています。

専門家協議の結果の詳細については、『Regulatory Toxicology and Pharmacology』、第 146 巻、2024 年 1 月、105525 を参照してください。

---

2024 年 3 月 18 日

## [Bilateral agreements on health worker migration and mobility](#)

This guidance is a tool for improving the capacity of state actors involved in the development, negotiation, implementation, monitoring and evaluation of agreements related to international health worker migration and mobility, keeping health system priorities at the fore, in alignment with the provisions of the [WHO Global Code of Practice on the International Recruitment of Health Personnel](#).

### **医療従事者の移住と移動に関する二国間協定の手引き**

医療従事者の国際的な移住と移動は、ここ数十年でその量と複雑さを増しています。

適切に管理されない場合、低・中所得国からの医療従事者の移住は低・中所得国の医師不足を悪化させ、医療制度を弱体化させ、不平等を拡大する可能性があります。これはひいては国際的な健康安全保障を脅かし、世界の経済と社会に重大な影響を与える可能性があります。

医療従事者の移動にはさまざまな経路がありますが、その中でも政府間の協定は、医療従事者と参加国の医療制度が医療従事者の移住と移動から確実に利益を得られるようにするための重要な可能性を秘めています。

保健医療従事者の移住と移動に関する二国間協定に関するガイダンスは、WHO (世界保健機関) と OECD (経済協力開発機構) が ILO (国際労働機関) と共同で、Working for Health プログラムの一環として作成したものであり、保健医療従事者の国際的な雇用に関する WHO 世界行動規範の規定に沿い、保健医療システムの優先事項を最優先としつつ、国際的な保健医療従事者の移住と移動に関連する協定の開発、交渉、実施、監視、評価に携わる国家関係者の能力を向上させるためのツールです。

---

2024 年 3 月 18 日

## [Handbook for non-State actors on engagement with the World Health Organization, second edition](#)

This Handbook walks non-State actors engaging with the World Health Organization (WHO)

through the principles and processes of the Framework of engagement with non-State actors (FENSA) to ensure smooth interaction with WHO.

## 世界保健機関との関わりに関する非国家主体向けハンドブック、第 2 版

このハンドブックは、世界保健機関 (WHO) に関与する非国家主体が、WHO との円滑な交流を確保するために、『非国家主体との関与の枠組み (FENSA : Framework of engagement with non-State actors)』の原則とプロセスを通して、WHO との関わり方を説明するものです。

この枠組みは、WHO と非国家主体との関わりを促進するための一連の主要原則と運営手順を提供する、実現可能な政策であり、WHO は、このような非国家主体との関わりを強化・充実させるとともに、非国家主体が潜在的に内包するリスクに対する管理を強化して、公衆衛生にプラスの影響を与える関わりを可能にし、強化するものであり、加盟国を支援するために、世界の利害関係者が WHO の規範、基準、勧告により合致することを求めるものです。

この方針は、WHO の完全性、評判、そして公衆衛生の使命を守りながら、非国家主体との関わりにおいて公平な競争条件が適用されることを保証し、期待される利益とリスクのバランスをとる努力を導くもので、また、WHO と非国家主体との関わりは、WHO の目標や優先事項を達成し、その重要な使命を果たす上で大きなメリットがあることも認識しています。

---

2024 年 3 月 21 日

### [Millions at risk from cholera due to lack of clean water, soap and toilets, and shortage of cholera vaccine](#)

The International Coordinating Group (ICG) on Vaccine Provision calls for urgent fast-tracking of life-saving measures.

### 数百万人がコレラの危険にさらされている

きれいな水、石鹸、トイレの不足、そしてコレラワクチンの不足により、アフリカ地域の数百万人がコレラの危険にさらされています。

ワクチン供給に関する国際調整グループ (ICG : International Coordinating Group) は、世界的にコレラ患者が数年前から急増しており、これを食い止めるためには、安全な水と衛生設備へのアクセスへの投資、検査とアウトブレイクの迅速な発見、医療の質の向上と医療へのアクセスの改善、コレラ患者をよりよく予防するための安価な経口コレラワクチン (OCV : oral cholera vaccine) の追加製造の迅速化などとしています。

2024 年におけるワクチンの世界の生産能力は 3700 万 ~ 5000 万回分と予測されていますが、コレラに直接罹患している数百万人のニーズに応えるには不十分です。現在ワクチンを製造しているのは、1 社のみで、新規メーカーが 2025 年までに市場参入する見込みはありませぬ。

ICG メンバーは、政府、ドナー、ワクチン製造業者、パートナー、地域社会に対し、コレラの増加を食い止め、逆転させるための緊急の取り組みに参加するよう呼びかけています。

(備考) ICG : 世界的なコレラワクチンの備蓄を管理している。ICG には、国際赤十字赤新月社

連盟、国境なき医師団、ユニセフ、WHO が参加している。 Gavi ワクチンアライアンスは、ワクチンの備蓄と OCV の供給に資金を提供している。

---

2024 年 3 月 21 日

## [WHO launches new guidance on the use of targeted next-generation sequencing tests for the diagnosis of drug-resistant TB and a new sequencing portal](#)

The World Health Organization (WHO) has just published recommendations on the use of a new class of diagnostic technologies: targeted next-generation sequencing (NGS) tests for the diagnosis of drug-resistant tuberculosis (TB) in the third edition of the [Consolidated guidelines on tuberculosis. Module 3: Diagnosis..](#)

### **薬剤耐性結核の診断における次世代標的シーケンス検査の新ガイダンスと、新シーケンスポータル**

WHO は、結核に関する統合ガイドライン (Consolidated guidelines on tuberculosis) の第 3 版において、最新技術を用いた新規抗結核薬に対する薬剤耐性を迅速に検出するための新しいアプローチである薬剤耐性結核の診断の次世代シーケンシング (NGS : nextgeneration sequencing) 検査を用いることを推奨しています。このガイダンスに伴い、56,000 を超える配列を含む新しい結核配列決定ポータルも立ち上げました。

このガイダンスでは、研究室職員、臨床医、その他の臨床スタッフ、保健省および技術パートナーに、対象を絞った NGS 検査に関する最近の最新情報など、証拠に基づく推奨事項の実施に関する詳細なガイダンスが提供され、検査手順、モデル アルゴリズム、結核を診断し、抗結核薬に対する耐性を検出するための新しい検査の実装と規模拡大に必要な手順とプロセスが示されています。

---

2024 年 3 月 21 日

## [Famine in Gaza is imminent, with immediate and long-term health consequences](#)

The [latest analysis from the Integrated Food Security Phase Classification \(IPC\) partnership released today](#) warns that the situation in Gaza is catastrophic, with northern Gaza facing imminent famine and the rest of the Strip at risk as well..

### **ガザに飢餓が差し迫る**

総合的食料安全保障レベル分類 IPC (Integrated Food Security Phase Classification) パートナーシップによる最新の分析によると、ガザの状況は壊滅的であり、ガザ北部は差し迫った飢饉に直面しており、ガザの他の地域も同様に危機に瀕していると警告しています。



紛争の前には、5 歳未満の子供の 0.8 % が急性栄養失調でしたが、今回のレポートによると、2 月の時点で北部の県ではその数字が 12.4 ~ 16.5 % となっています。

現在の状況は、何千もの人々の命と健康に長期的な影響を与えることとなります。現在、栄養失調と病気の複合的な影響により、子供たちが亡くなっています。栄養失調により、人々は重症化しやすくなったり、回復が遅くなったり、病気に感染したときに死亡したりする可能性が高くなり、その長期的な影響により、子どもたちの全体的な成長が遅れます。これは将来の世代全体の健康とウェルビーイングを損なうものです。

WHO と他の国連パートナーはイスラエルに対し、さらに多くの国境を開放し、ガザ内およびガザ内への水、食料、医薬品、その他の人道支援物の搬入と配達を加速するよう改めて要請しました。占領軍は、国際法に基づき、食料を含む物資の通過を許可する責任があります。

---

2024 年 3 月 21 日

## [WHO launches directory of resources for planning healthy environments](#)

In an effort to address the pressing global challenges from environmental risks, the World Health Organization (WHO) has unveiled a comprehensive directory of resources aimed at guiding urban planners, policymakers and communities towards healthier environments.

### **WHO、健康的な環境を計画するためのリソースのディレクトリを立ち上げ**

世界中で人間の死亡の約 4 分の 1 が環境要因に起因しており、年間 700 万人の早期死亡に関連する大気汚染により、都市空間の計画と設計において健康を優先することがこれまで以上に重要になっています。

環境リスクによる差し迫った世界的課題に対処する取り組みの一環として、世界保健機関 (WHO) は、都市計画者、政策立案者、地域社会をより健康的な環境に導くことを目的としたリソースの包括的なディレクトリを発表しました。

このディレクトリは 200 近くのオープンアクセス リソースで構成されており、より健康的な環境の構築を促進し、世界中のコミュニティのウェルビーイングを向上させるための貴重な洞察とツールを提供する重要なオンライン リポジトリとして機能し、WHO と国連ハビタット (国際連合人間居住計画) による共同の取り組みである都市および地域計画における健康の統合ソースブックと、都市および地域計画を通じた健康な地球、健康な人々、および健康の公平性の支援という出版物に含まれるリソースから構築されています。

---

2024 年 3 月 21 日

## [Call for urgent agreement on international deal to prepare for and prevent future pandemics](#)

Call from 100+ pantheon of global leaders for urgent agreement on governments to reach ambitious and equitable international deal to prepare for and prevent future pandemics

## 世界が必要とするパンデミック協定の実現

100 人以上の世界のリーダーや専門家は、WHO 加盟国が交渉中のパンデミック協定についての公開書簡を発表しました。 概要は以下の通りです。

- 新型コロナウイルス感染症のパンデミックが私たちに何かを教えてくれたとすれば、それは「どこにいても誰もが安全にならない限り、どこにいても誰も安全ではない」ということ、そして世界的な安全を実現することは協力によってのみ可能であるということ。
- パンデミック協定は、私たちの未来を守るために不可欠である。 パンデミックに関する強力なグローバル協定のみが、数百万人の死者を出し、社会的・経済的荒廃を広げた COVID-19 危機の再現から将来の世代を守ることができる。 しかし、パンデミック協定によって、WHO は公衆衛生上の緊急事態の間、各国とその国民に対して広範な権限を行使できるようになるという主張がある。 これらの主張はすべてまったくの誤りである。
- 新たなパンデミックの脅威は必ずやってくる。 したがって、パンデミックの予防、準備、対応において、効果的で多部門にまたがる多国間アプローチを構築することが不可欠である。 私たちは、すべての国の指導者たちに対し、できるだけ早く、協定を完成させるべく努力を重ねるよう求めている。

---

2024 年 3 月 21 日

### [Rapid measles outbreak response critical to protect millions of vulnerable children](#)

2023 saw a sharp increase in measles cases in the European Region, putting millions at risk

## 子どもたちを守るためには、迅速な麻疹（はしか）流行への対応が不可欠

麻疹は世界で最も伝染性の高い病気の 1 つであり、感染者の呼吸、咳、くしゃみによって広がります。 ウイルスは空気中または感染した表面上で最大 2 時間伝染性を保ちます。 免疫を持たない人であれば誰でも感染する可能性があります。 ワクチン接種を受けていない幼児や妊婦は、麻疹の重篤な合併症のリスクが最も高くなります。

2023 年、ヨーロッパと中央アジアにまたがるヨーロッパ地域の 53 の加盟国のうち 41 カ国で、58,000 人以上が麻疹に感染し、数千人が入院し、10 人がこの関連で死亡しました。 この数字は、過去 3 年間と比較して急激な増加を示しており、保護されていない地域のすべての人々にとってのリスクです。 2024 年も麻疹患者が増加し続けることを防ぐためには、持続的な努力が必要であることは明らかです。

欧州予防接種アジェンダ 2030 において、すべての国は以下を行う必要があります。

- いずれかのワクチン接種を逃した人々に追加ワクチン接種を提供することを含め、麻疹含

有ワクチンの両方の接種により、すべての地域社会で 95 % 以上の接種率を達成し、維持する。

- あらゆる可能性のある症例を迅速に検出し隔離するために、質の高い監視を確保する。
- すべての地域社会で迅速なアウトブレイク対応を確保する。

---

2024 年 3 月 25 日

## [World Water Day 2024: bridging divides through water cooperation](#)

Today, [World Water Day 2024](#) calls us to action, to unite around the theme of "Water for Peace" and to leverage water as a tool for building a more stable, peaceful world.

### **2024 年「世界水の日」：水の協力を通じて溝を埋める**

2024 年世界水の日 (3 月 22 日) は、「平和のための水 (Water for Peace)」というテーマに沿って団結し、より安定した平和な世界を構築するツールとして水を活用することを私たちに呼びかけています。

飲料水へのアクセスは人権ですが、水が不足していたり汚染されている場合、あるいは人々がアクセスできない場合やアクセスが不平等な場合には、緊張が高まる可能性があります。水利協力の成功例は、紛争解決と地域社会の改善における水の価値を浮き彫りにしています。

22 日に発表された「国連世界水開発報告書 2024」は、水がいかに真に繁栄を支え、平和の手段として機能するかを示す証拠が増え続けていることを示しています。

---

2024 年 3 月 25 日

## [Global Research Agenda on Knowledge Translation and Evidence-informed Policy-making](#)

World Health Organization is leading a collaborative effort to develop a global research agenda on knowledge translation and evidence-informed policy-making

### **政策立案に関する知識のトランスレーションと証拠に基づいた世界的研究課題**

証拠を政策や実践に変換することの重要性は、証拠の作成者、仲介者、利用者、資金提供者によって広く認識されていますが、効果的な証拠の使用を促進するための適切なメカニズムについての合意は、極めて少ないです。

これへの対応として、世界保健機関 (WHO) は、一連の技術協議を通じて、知識トランスレーション (KT : Knowledge Translation) と証拠に基づく政策立案 (EIP : Evidence-informed Policy-making) における広範かつ包括的な研究優先順位設定演習を開始しました。

現在、公募で選ばれた世界的な専門家が、KT と EIP 研究におけるギャップと機会を特定する

ための一連の協議に積極的に参加しています。この協議は、参加者が現在の研究ギャップについて話し合い、用語を統一し、共通の優先事項に向けた方向性を描くための極めて重要な機会を提供します。

(備考) knowledge translation ; 利害関係者が健康や医療に関する意思決定のためにリサーチ・エビデンスを認識し、社会で利用できるようにすること。

---

2024年3月25日

## [WHO launches new toolkit empowering health professionals to tackle climate change](#)

To support this, the World Health Organization (WHO) in collaboration with partners has developed [a new toolkit](#) designed to equip health and care workers with the knowledge and confidence to effectively communicate about climate change and health.

### **医療専門家向けの気候変動への取り組みを支援する新しいツールキットを発表**

気候変動は最も重大な地球規模の健康課題の1つであり、すでに世界中のコミュニティに悪影響を及ぼしています。気候変動は、異常気象、大気汚染、食糧不安、水不足、感染症の蔓延など、さまざまな経路を通じて健康に影響を与えます。熱波、気象パターンの変化、大気汚染は、心血管疾患、呼吸器疾患、精神的健康問題、栄養失調など、さまざまな健康への悪影響を引き起こします。さらに、医療システムは気候関連の課題による負担の増大に直面しており、行動の緊急性が高まっていて、気候変動による健康上のリスクと解決策において、健康上の利点を伝えることは必要であり、また有益です。これを支援するために、世界保健機関 (WHO) はパートナーと協力して、医療従事者と介護従事者が気候変動と健康について効果的にコミュニケーションできる知識と自信を身につけることを目的とした新しいツールキットを開発しました。

このツールキットは、医療従事者と介護従事者が気候変動と健康についてコミュニケーションできるようにすることで、気候変動の緩和、回復力の構築、公衆衛生の保護に向けた集団的な行動を促進することを目的としており、医療従事者や介護従事者が気候変動の健康への影響と気候変動対策の副次的利益を理解し、コミュニケーションへの信頼を築き、さまざまな利害関係者と効果的に関わるのに役立つ包括的なリソースを提供します。

---

2024年3月25日

## [Unpacking artificial intelligence in sexual and reproductive health and rights](#)

A [new technical brief](#) by the World Health Organization (WHO) and the UN Special Programme on Human Reproduction (HRP) explores the application of artificial intelligence

(AI) in sexual and reproductive health and rights (SRHR) and evaluates both opportunities and risks of this rapidly advancing technology.

## 性と生殖に関する健康と権利における人工知能（技術解説）

HRP および WHO の性と生殖に関する健康局の局長は「AI はすでに性と生殖に関する健康のためのテクノロジーを変革しつつあります。私たちが潜在的な危険性を認識し、実装に慎重であり、AI を解決策ではなくツールとして認識すれば、性的および生殖に関するサービスと情報をすべての人がよりアクセスしやすくする素晴らしい機会が得られます」と述べています。

世界保健機関（WHO）と国連の人間の生殖に関する特別計画（HRP）による新しい技術解説では、性と生殖に関する健康と権利（SRHR）における人工知能（AI）の応用を検討し、急速に進歩するテクノロジーの機会とリスクの両方を評価しています。

この概要は情報提供であり、規制上の考慮事項や倫理とガバナンスなど、人工知能に関する WHO の最近のガイダンスを補完するものです。

---

2024年3月28日

## [WHO launches CoViNet: a global network for coronaviruses](#)

WHO has launched a new network for coronaviruses, CoViNet, to facilitate and coordinate global expertise and capacities for early and accurate detection, monitoring and assessment of SARS-CoV-2, MERS-CoV and novel coronaviruses of public health importance.

## コロナウイルスの世界的ネットワーク CoViNet を立ち上げ

世界保健機関（WHO）は、SARS-CoV-2、MERS-CoV などの、公衆衛生上重要な新型コロナウイルスの早期かつ正確な検出、監視、評価のためのグローバルな専門知識と能力を促進し、調整するために、コロナウイルスに関する新しいネットワーク、CoViNet を立ち上げました。

このネットワークは、ヒト、動物、環境コロナウイルス監視の専門知識を持つ世界的な検査機関のネットワークで、パンデミックの初期に Covid-19 の原因ウイルスである SARS-CoV-2 に焦点を当て設立された WHO COVID-19 基準検査室ネットワークを拡大したもので、今後は MERS-CoV や潜在的な新型コロナウイルスを含む、より広範なコロナウイルスに対応する予定で、3月にジュネーブで会合を開き、2024年～2025年の行動計画をまとめました。

CoViNet 会議には、ヒト、動物、環境の健康に関する世界の専門家が集まり、コロナウイルスの進化と拡散を監視および評価するための包括的な One Health アプローチを採用して WHO の政策に情報を提供し、意思決定を支援するための、サーベイランスの強化、検査能力、シーケンス、データ統合を行います。

---

2024年3月28日

## [WHO calls for greater attention to violence against women with](#)

## [disabilities and older women](#)

Older women and women with disabilities face particular risk of abuse, yet their situation is largely hidden in most global and national violence-related data, according to two new publications released today by the World Health Organization (WHO).

### **WHO、障害のある女性や高齢女性に対する暴力に一層の注意を呼びかけ**

世界保健機関（WHO）が発表した 2 つの新しい出版物によると、とりわけ高齢女性や障害を持つ女性は虐待のリスクに直面しているとされています。親密なパートナーからの暴力と性的暴力は、世界的に最も一般的なジェンダーに基づく暴力の形態であり、女性の約 3 人に 1 人が影響を受けています。

しかし、その状況はほとんどのグローバルヘルスや国の暴力関連データでは、隠蔽されています。WHO は、このような女性たちが確実にカウントされ、彼女たち特有のニーズが理解され、対処されるよう、各国におけるより良い調査の必要性を訴えています。

WHO は、女性に対する暴力に関するデータのうち、高齢女性の割合が 10 % 程度に過ぎないことを指摘し、このようなエビデンスギャップに対処するためのいくつかの対策を推奨していて、調査参加の年齢制限を拡大することなどが挙げられます。また、さまざまなタイプの暴力に関連する質問を取り入れ、幅広い障害を網羅することも提案しています。

「高齢の女性に対する暴力の測定」と「障害のある女性に対する暴力の測定」という 2 つの概要では、高齢の女性や障害のある女性、そして彼女たちを代表する団体が、調査の設計と実施のすべての段階と側面に参与し、適切で使いやすいものにするべきだと強調しています。

---

2024 年 3 月 28 日

## [World of Work stakeholders voice support for the pandemic accord, highlighting workers' rights and needs during pandemics](#)

As the Intergovernmental Negotiating Body (INB) of WHO Member States meets for the ninth time, and Member States continue to negotiate a pandemic accord ahead of the World Health Assembly in May, stakeholders of WHO Health in World of Work Network (H-WoW) have released a statement in support of progress on developing the pandemic accord and for amendments proposed by the International Labour Organization..

### **「World of Work」関係者がパンデミック協定の支持を表明**

WHO 加盟国の政府間交渉会議（INB）が 9 回目の会合を開き、5 月の世界保健総会に向けてパンデミック協定の交渉を続ける中、WHO「世界の労働者健康ネットワーク（H - WoW : Health in World of Work Network）」の関係者は、パンデミック協定の策定を支持し、国際労働機関が提案した修正案を支持する声明を発表しました。

政府間交渉会議の第 9 回会合（INB9）は、パンデミック協定交渉の正念場で、H - WoW ネットワークの声明は、将来のパンデミックに対し、健康や社会経済的対策を含め、部門を問わ

ずすべての医療従事者の保護を求めるものです。

H-WoW 組織は、健康・労働・社会保護に関する政府機関、ビジネスリーダー、雇用者・労働組合、労働衛生専門家協会など、仕事の世界における主要な利害関係者の代表で、この声明は、H - WoW ネットワークの関係者メンバーによって発表されたものであり、WHO によるものではありません。

---

2024 年 3 月 28 日

## [Benefits and risks of using artificial intelligence for pharmaceutical development and delivery](#)

WHO recognizes that artificial intelligence (AI) holds great promise for pharmaceutical development and delivery. However, AI also presents risks and ethical challenges that must be addressed if societies, health systems and individuals are to fully reap its benefits.

### **医薬品の開発・提供における人工知能活用のメリットとリスク**

AI はすでに医薬品開発のほとんどの段階で利用されており、将来的には、市場に出回るほぼすべての医薬品が、開発、承認、販売のいずれかの段階で AI に「触れる」ことになると考えられます。

WHO は、人工知能 (AI) が医薬品の開発と提供に大きな可能性を秘めていることを認識しています。しかし、AI にはリスクや倫理的な課題もあり、社会、健康システム、個人がその恩恵を十分に享受するためには、それ等の課題に対処する必要があります。AI の利用は商業的な利益をもたらすかもしれませんが、公衆衛生上の利益と適切なガバナンスも不可欠です。

このディスカッションペーパーでは、医薬品やワクチンの開発・展開の各段階における AI の適用拡大について考察しています。

---

2024 年 3 月 28 日

## [Working together for a healthier, safer world: WHO and IPU renew partnership](#)

The Inter-Parliamentary Union (IPU) and WHO today signed a new Memorandum of Understanding, reaffirming the critical role that parliamentarians play in enabling good health to foster stable and equitable societies.

### **WHO と列国議会同盟 (IPU) がパートナーシップを更新**

WHO と列国議会同盟 (IPU) は、第 148 回 IPU 総会において新たな覚書に署名し、安定した公平な社会を育むために健康が確保されるよう、国会議員が果たす重要な役割を再確認しました。

この覚書は、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、グローバル・ヘルス・セキュリティ、

健康促進、そして特に性と生殖に関する健康と権利に関連する健康の不平等の削減という、グローバル・ヘルスの優先事項に沿った重要な協力分野を強化するもので、両組織は、あらゆる場所ですべての人々の健康とウェルビーイングを促進、提供、保護するために協力し続けることを約束し、世界中の人々が直面する永続的かつ新たな課題に対処するために、それぞれの科学的・政治的権限を活用するという約束を更新するものです。

また、気候変動への対応、新たなパンデミック協定に関する政府主導の交渉支援、健康のための持続可能な資金調達など、分野横断的な活動も新たに追加され、WHO が直面している予測可能性と柔軟性の不十分な資金調達の問題や、拠出金と任意拠出金間の歴史的な不均衡を克服するための、今年の第1回 WHO 投資ラウンドに関する協力も含まれます。

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものですので、詳細内容については、WHO ニュースリリース、声明及びメディア向けノートの原文をこちらからご確認下さい。

<https://www.who.int/news-room/releases>

<https://www.who.int/news-room/statements>

<https://www.who.int/news-room/notes>